大学･高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F124310107165	設置等組織名	環境情報工学部(環境情報工学科)
大学名		設置区分			
学校種		都道府県		事業計画名	四日市大学環境情報工学部新設

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	1-① 令和５年９月 環境情報工学部設置検討委員会および設置準備室発足 1-② 令和５年10月 設置準備に向けた社会ニーズ把握のためのアンケート調査・結果分析（高校生，業界） 1-③ 令和６年２月 社会ニーズをふまえたカリキュラム編成，授業科目配置の検討	1-① 令和５年９月 環境情報工学部設置検討委員会および設置準備室発足 1-② 令和６年１月 設置準備に向けた社会ニーズ把握のためのコンサルタントからのヒアリングおよびアンケート調査の設計再検討 1-③ 令和６年２月 社会ニーズをふまえたカリキュラム編成，授業科目配置の検討	令和5年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	1-④ 令和６年４月 地域人材育成協議会発足，入学者選抜体制の検討 1-⑤ 令和６年９月 教員組織検討，教育研究環境の検討	1-④ 令和６年４月 入学者選抜体制の検討 令和６年５月 地域人材育成協議のあり方の検討 1-⑤ 令和６年９月 教員組織検討，教育研究環境の検討	令和6年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	1-⑥ 令和７年４月 建物改修計画作成 1-⑦ 令和７年６月 設置認可申請書類作成・事前相談 1-⑧ 令和７年８月 教育体制整備のための大学連携の導入	1-⑥ 令和７年４月 建物改修計画作成 1-⑦ 令和７年６月 設置認可申請書類作成のみ 1-⑧ 令和７年８月 教育体制整備のための大学連携の導入	令和7年度自己評価：【２】計画を十分には実施していない。 令和７年１０月 本学園常任理事会において、学園の財務状況の悪化に加え、入学者確保の困難さ、教員確保が難航している状況を総合的に勘案し、本事業の廃止を決定した。
令和8年度	2-① 令和８年４月 環境分析実習室改修 2-② 令和８年４月 デジタルメディア実習室改修 2-③ 令和８年８月 情報通信設備工事 2-④ 令和８年８月 環境データサイエンス実習室改修 2-⑤ 令和８年８月 講義室改修 2-⑥ 令和８年10月 環境分析実習設備設置 2-⑦ 令和８年10月 デジタルメディア実習設備設置 2-⑧ 令和９年２月 実習用コンピュータ設置		令和8年度自己評価：リストから選択してください。
令和9年度	3-① 令和９年４月 環境情報工学部運営点検委員会および運営支援室発足 3-② 令和９年８月 国際的な人材育成に向けた海外大学との連携		令和9年度自己評価：リストから選択してください。
令和10年度	3-③ 令和10年８月 海外連携大学での海外研修実施状況調査 3-④ 令和10年12月 環境情報工学部フォーラム開催 3-⑤ 令和11年３月 運営状況の点検（設置後2年時），必要に応じてカリキュラムや運営方針の見直し		令和10年度自己評価：リストから選択してください。
令和11年度	3-⑥ 令和11年８月 海外連携大学での海外研修実施状況調査 3-⑦ 令和11年12月 環境情報工学部フォーラム開催		令和11年度自己評価：リストから選択してください。
令和12年度	3-⑧ 令和12年８月 海外連携大学での海外研修実施状況調査 3-⑨ 令和12年12月 環境情報工学部フォーラム開催 3-⑩ 令和13年３月 運営状況の点検（完成年度時）		令和12年度自己評価：リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価：リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価：リストから選択してください。

認可申請 又は届出	令和8年3月　環境情報工学部環境情報工学科　設置認可申請予定		
定員減又は 学部等の廃止	令和9年3月　環境情報学部環境情報学科学生募集停止の報告予定(入学定員70人、社会学・社会福祉学関係　経済学関係) 令和9年3月　総合政策学部総合政策学科30人減員に係る届出予定(入学定員100人、法学関係) 令和12年3月 環境情報学部環境情報学科廃止に係る届出予定		

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学

ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学

ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施

■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施

■ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
【企業や自治体と連携した科目の整備・実施】現行の環境情報学部のカリキュラムでも，「地域連携環境講義」や「地域社会とメディア情報」等，地域で活躍する企業・自治体等から講師を招聘し，企業や地域との関係を学ぶ科目を設置している。卒業研究では地域課題に関するテーマを設定し，積極的に地域と関わっている。フェーズ1期間中に，これらの実績を改めて点検し，地域の企業や自治体との連携をさらに深める方法について検討する。 【関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施】グリーン分野においては三重大学生物資源学部との連携を，デジタル分野においては三重大学工学部や名古屋工業大学との連携を模索する。三重大学生物資源学部との連携に関しては，これまで10年以上三重大学が所有する練習船「勢水丸」を活用した実習型授業を実施しており，今後もさらに連携を強化する。 【関連分野に強みを持つ海外大学との連携】連携協定を締結しているオーストラリアのクイーンズランド大学で環境研修を実施する。	【企業や自治体と連携した科目の整備・実施】現行の環境情報学部カリキュラムの「地域連携環境講義（オムニバス）」や「地域社会とメディア情報」等の地域や企業と連携した授業について本年度も継続して実施し，授業内容の点検を行い，招聘する分野や団体等の連携をさらに深めた。地域課題をテーマとした卒業研究は本年度も実施した。 【関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施】前年度採用した海洋調査を担当できる教員によって，三重大学附属練習船「勢水丸」を活用した「伊勢湾海洋実習」を実施した。 【関連分野に強みを持つ海外大学との連携】前年度実施したオーストラリア・プリスベンおよびモートン島において海外環境研修は隔年開講を予定していたため、今年度は実施しなかった。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- ■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
- ■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- ■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- ■ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
【入学者選抜における科目の見直し】令和6年度入学者選抜試験より一般選抜に理系人材確保のための数学重視型入試や論理的な思考力を問う小論文型入試の実施を決定している。 【女子学生の確保に向けた取組】令和4年度より女子学生サポート検討チームを設置し，在学生・卒業生との懇談，学習環境に対する要望調査を実施している。 【地域の初等中等教育段階の学校との連携】県内高校と高大連携協定を締結し，出前授業や大学見学を実施している。教育委員会主催の小中学校教員研修会や三重ジュニアドクター育成塾の講座を担当している。 【社会人学生の受入れ強化に向けた取組】社会人学生を対象とした長期履修制度や政策・戦略企画力養成プログラム，社会人向け公開講座を実施している。 【留学生の受入れ強化に向けた取組】留学生支援センターを中心とした取組を実施している。フェーズ1期間中にこれらの実施体制や効果を検証し，新学部に適したものとなるように制度を改善する。	【入学者選抜における科目の見直し】令和6年度入学者選抜試験より開始した，一般選抜に理系人材確保のための数学重視型入試および論理的な思考力を問う小論文型入試を，引き続き実施した。 【女子学生の確保に向けた取組】女子学生にとって魅力ある大学環境の整備を目指して検討しているが、具体的な案が策定出来ていない。 【地域の初等中等教育段階の学校との連携】高大連携協定を締結している県内高等学校への出前授業や大学見学を実施した。また本年度も四日市市教育委員会主催の小中学校教員研修会，三重県教育委員会主催の県内高校生対象「学校防災ボランティア事業」のコーディネイトなどを実施。 【社会人学生の受入れ強化に向けた取組】科目等履修・聴講生・履修証明プログラムなどの制度を設け、生涯学習のニーズにこたえている。また、四日市市と連携した「四日市市民大学」の開講、防災を実践的に学習する「防災士養成講座」の開講を行っている。 【留学生の受入れ強化に向けた取組】留学生支援センターを中心として，貢献顕著な私費外国人留学生奨学金制度や留学生日本語弁論大会の開催等，留学生に選ばれる大学を目指した取り組みを実施した。選定されている「留学生就職促進教育プログラム認定制度」にも力を入れている。	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

年度	区分	指摘事項等	対応状況

大学名	

１.本事業対象となる学部等の状況

＜合計＞

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人					100														
		編入学定員	人																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-																
		入学者数(B)	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-																
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	-	-	-																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-																
		授業科目の単位数	単位	-	-	-																

大学名	

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	環境情報工学部環境情報工学科（工学関係）

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定				開設														
	事業計画に定める定員	入学定員	人					100														
		編入学定員	人																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-																
		入学者数(B)	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-																
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	-	-	-																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-																
		授業科目の単位数	単位	-	-	-																

大学名	

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-																
		入学者数(B)	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-																
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	-	-	-																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-																
		授業科目の単位数	単位	-	-	-																

大学名	

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	200	200	200	200															
		入学者数	人	186	176	161	173															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	200	200	200	200															
		入学者数(B)	人	186	176	161	173															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.93	0.88	0.81	0.87															
	収容定員等	収容定員(C)	人	800	800	800	800															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	739	698	663	658															
		編入学者数	人	5	1	6	2															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.92	0.87	0.83	0.82															

４.外部資金の状況（全学）

項目	単位	H30年度 申請−5年	R1年度 申請−4年	R2年度 申請−3年	R3年度 申請−2年	R4年度 申請−1年	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
外部資金獲得額	千円	16,374	9,150	7,850	6,639	5,811	5,542	5,318	11,419											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額	千円	7,880
本事業による助成金の額(F)	千円	1,165,000
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	37,005

特記事項

3.大学(学士課程)の収容定員等の編入学定員0人とは、若干名を意味している。